



# にこにこ通信第191号

2011/2/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せください。ようようお願い申し上げます。 謹白。

## 一 古希は厄年か

先号で「私の同輩が昨年古希だった」とお知らせしましたが、同輩とは同級生と言う意味で、私は3月31日生まれです。今年「古希」を迎えました。昔から、男性の成長の節目として、25歳と42歳は「厄年」、60歳は「ほんけがえり」、70歳は「古希」、77歳は「喜寿」、80歳は「傘寿」、88歳は「米寿」、99歳は「白寿」と言われています。

昔は短命でしたから、60歳の「ほんけがえり」以上は、長寿できたとしてお祝い事だったのだと思います。今は長寿社会で「喜寿」もそんなに珍しくなくなりました。

私も42歳の厄は何の変化・障害もなく、52歳の時、それまで走り回って飛越えていたゴルフ場の垣根に足が引っ掛って、「以後気をつけよう」と思ったのと、「近頃、午前様112時過ぎ迄飲み歩くこと」になると朝がきつく

少し弱くなったかな（酒量ではなく体力が）と思いましたが。しかしその後も、ゴルフの飛距離は徐々に落ちるもの、飲酒量は衰えを見せません。肝臓などが心配で3ヶ月に一度は血液検査をしています。上へも下へも出ていません。

そんな私に「少し大人しくなりなさい」と神様が注意を与えたのか、今年に入って事故が続きました。

最初は交通事故。1月27日、午前6時30分、大雪の真っ最中、早めに社して除雪しようと家を出て間もなくの交差点、信号が青に変わり前の車に続いて交差点に入った途端、右の方から大型コンテナ車が眼前に迫っているではありませんか。「やられた」と思いましたが少しでも思ってアクセルを踏込みました。しかし時既に遅し、大型コンテナ車の右前が私の軽4トラックの右後ろ（もう20〜30センチの側面を突きました。私の軽4は路面の凍結もあり一回転（転がったのではなくコマの様に横滑りに）しました。相手に聞くと、私の前の車が横切ったので初めて信号機の有る交差点で赤信号なのを認識したそうです。幸い身体は何ともありませんでしたが、悪い波を呼込むのではないかと嫌な感じがしま

した。そしてその予感は大当たりました。時は2月3日、転倒事故。午前7時、この日は久しぶりに降雪がなく天気予報も「晴れ」となっていましたので、早めに出社し、融雪しようと車から降りてシャッターの前へ行く途中、突然仰向きに滑りました。今までなら、手をつくとか尻餅をつくとかしました

が、今回は柔道の足払いをくらった様に、一度空中へ浮いた感じがし、直後、手もつけずまともに腰から落ちました。幸い、頭は打ちませんでした。一瞬何事が起きたのか分らなかつた。激痛で5分間ほど立ち竦んでいました。病院で骨には異常がないとのことでしたが左側背面の尻と肋骨の間を押すと左尻つぺたに激痛が走ります。痛みが治らないので別の病院へ行ったら背骨の一部が折れて神経に触って痛いのだと言われ、医者も色々いるから重大な病と思われたら複数の医者にかかるべきだと改めて思いました。

とにかく、「厄年」も「ほんけがえり」も、何の節目も感ぜず、今日まで好き放題してきましたが「歳をとったんですね」、今年は大きな節目が感じられませぬ。暫くは、慎重に、おとなしく過ごそうと思つていきます。